

第27回 議会報告会を開催

平成31年1月26日(土)中央公民館にて、昨年に引き続き、龍谷大学の土山希美枝教授を講師に「市民と議員の合同研修会」を開催し、63名の参加がありました。第1部は「市民に必要なとされる議会のために」をテーマに講演会を行いました。第2部では土山教授より示された、3つのテーマごとに、市民と議員がグループ討議を行いました。主な内容は以下のとおりです。

◆土山教授のコメント
政治家として、いろいろな目線を持つことが大切。「市民

- ◆参加者からの主な意見
 - ・市民と議論を尽くして一致点を見いだす。
 - ・自分の意見を裏付ける根拠を示す。
 - ・協議の場を設ける。
 - ・考えや価値観が合わなければ仕方がない。

テーマA
市民(支援者)と議員の意見が合わないとき



グループ討議の様子

◆土山教授のコメント
市民が一番納得いかないのが「自分は賛成。だけど、会派が反対だから」という態度。これは、議決権が個人にあるから。合意形成を図る中で多数派に固まる場合もある。しかし、議員の姿勢として、絶対にこの意見を残さないといいけないという思いで、少数派(反対)意思を示すことは議会では大切。

- ◆参加者からの主な意見
 - ・あくまでも市民目線で、い
 - うべき意見は言う。
 - ・相違点を明確化し、真意を確認するための協議の場を持ち相互理解に向け次の対応を決める。
 - ・自分の意見を貫く。

テーマB
議会の多数派と意見が合わないとき

のため、市のため」という認識は一番共有できること。共有できる課題を見いだすことも、時に大切になる。



講演をする土山教授

◆土山教授のコメント
要望をしている人はムチャだと思っていない。なぜ、その人にとって問題なのかを聞くことが大切。話を聞き、「あなたが感じていることに共感する。しかし、できない」と、素直に伝えることも一つの方法。

- ◆参加者からの主な意見
 - ・話を聞いたうえで、法律に反するものは、はっきりと断る。
 - ・要望の背景を聞き、できないまでも、できる限り前進できる方法を探る。
 - ・平行線になった場合、ある時点で、はっきり断る。

テーマC
市民からムチャな要望をされたとき

知立市議会
だより

ふにろす

知立市議会です。

表紙写真

募集!!

季節の風景、まちかどで発見

応募方法 郵便番号、住所、氏名、電話番号、写真の撮影場所、撮影日時、写真の説明(タイトル等)をご記入の上、メールまたは郵送(LLプリント)にて、知立市議会事務局(市議会だより編集委員会)までお送りください。

応募条件 カラー未発表のものに限ります。被写体が人物の場合は、本紙掲載について、本人(未成年の場合は、親権者)の同意が必要です。写真は返却致しません。

締切り 令和元年 8月1日号▶6月28日
令和元年11月1日号▶9月30日

◆表紙への掲載内容
採用写真、タイトル、応募者氏名、住所(町名まで)

▼送り先
知立市議会事務局(市議会だより編集委員会)
〒472-8666 知立市広見三丁目1番地
電話 95-0137 FAX 83-5565
E-mail : gikai@city.chiryu.lg.jp